

令和7年度東大和市交通安全対策審議会

日 時 令和7年10月22日（水）10：00～11：00

会 場 市役所 会議棟 第2会議室

出席者等

市：和地市長、金子部長、福田課長、三浦係長、清野主任、土屋主事

出席委員：8人

湯沢仁（会長）、池田政次（職務代理者）

田島潤一郎、國吉隆子、岡田亜希子

吉村浩、榎原元秋、片桐誉之

欠席委員：2人

和田孝、五味正継

会議の種別：公開

傍聴者：なし

会議次第に沿って進行

1 市長挨拶

2 委嘱状の交付（4人）

3 委員の自己紹介

4 議題

（1）関係行政機関の状況について

① 東大和市内の交通事故状況について

（別紙資料2頁に基づき片桐委員から説明）

令和6年都内での交通事故による死者は、146人と前年比で増加傾向にある。

また、東大和警察署管内においては令和6年中死亡事故の発生はないが、高齢者と子どもの交通事故関与率が都内でも高い順位である。

特に子どもの交通事故に関しては、例年、高い関与率を示している。

警察としては、登下校時に警察官を通学路に配置するなどの対策を通じて子どもの交通事故防止を推進していきたい。

《質疑なし》

② 東大和市内の救急活動状況について

(別紙資料3頁に基づき北多摩西部消防署奈良主任から説明)

令和6年中の救急出場状況は、資料のとおり救急出場件数、搬送人員ともに増加している。そのうちの約5%が交通事故によるもの。交通事故により搬送される人を年齢別にすると、70歳以上が多い。曜日別では水曜日が多く、程度別は軽症が多い。東京都全体の出場件数のうち、交通事故によるものの割合は4.4%で東大和市の割合に近い。

《質疑なし》

(2) 東大和市の交通安全対策事業状況について

(別紙資料4頁から8頁に基づき事務局から説明。)

また、資料には記載がないが、教育総務課主管で行われる通学路点検の進捗状況について説明した。

質疑

委員

① 自転車に乗る子どものヘルメット着用が増えているように感じるが、親の世代が着用していない。シートベルトの着用が定着しているようにヘルメットの着用も当たり前になるよう取組んでほしい。

- ② 以前、友人が車を運転する際、停止線で止まった後、少し前進して再度停止するといった安全確認方法を習慣的に行っていた。こういったドライバーが知らない具体的な安全情報についても広めてもらいたい。

事務局

- ① ヘルメット着用の促進について、親世代に利用者の多いSNSを活用した広報を実施していきたい。
- ② 多段階停止については、既に市ホームページに掲載している。その他の安全運転情報についても研究し、積極的に広報していきたい。

委員

運転マナーの悪い車や自転車を目にする。特に中高生の自転車利用者は無理な運転が目立ち、事故を起こしてしまうかもという想像力が欠けている。そういうドライバーに対する安全教育が必要だと感じる。

委員

運転者に対しては、警察・市・交通安全協会で春と秋に運転者講習会を実施している。その中で視聴している交通安全DVDが効果的だと感じる。

事務局

市としても運転者講習会に多くの市民が参加するよう広報を強化していきたい。

中高生に対する自転車安全教育については、中学生に対するスクエード・ストレイト方式の交通安全教室や産業まつりなどで展示している自転車シミュレータを活用して、自転車の危険性などを体験できる安全教育を推進していきたい。

委員

小学3年生に対し自転車の安全教室を実施しているが、保護者に対しても安全教室を受講する機会を設けてもらいたい。

事務局

教育委員会にも提案し、学校・警察と協議のうえ、検討したい。

委員

小学生高学年には、「なぜそうするのか」といった理屈で指導することが効果的である。そういったことも踏まえた安全教育を考えてほしい。

家庭に情報を届ける方法として学校のホームページに市の交通安全ページのリンクを貼ることが可能ではないかと考える。

事務局

各年齢層にあった啓発活動を推進していきたい。

ホームページについては、教育委員会に確認し、検討していきたい。

(3) その他

事務局から連絡

- ① 令和8年度の審議会については、交通安全計画策定のため、年4回の開催を予定している。
- ② 役職の変更や人事異動があった際には、連絡をお願いする。

以上をもって閉会となった。